

えがお 愛顔のえひめ特別支援学校技能検定

この検定は、特別支援学校生徒の職業能力、勤労意欲を高めるとともに、企業等の雇用促進を図るため、平成26年度、県独自に「愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定」を創設し、清掃4種目、接客1種目、販売実務1種目の3部門6種目でスタートしました。平成28年度には販売実務1種目、情報2種目を追加するとともに、清掃を複合2種目に再編成し、現在の4部門7種目になりました。また、清掃5種目を地区検定として、東・中・南予の3会場で実施することにより、より多くの生徒が受検できるようになりました。

【技能検定テキストより 抜粋】

作業工程	作業内容	写真・イラスト等
1 準備	① 清潔にふさわしい服装をする。 ② 清潔に髪を付ける。	
2 道具準備	① 道具の点検は、選手をして、スタート位置に立つ。 道具を確認し、足りないものがあれば報告する。 ② ロスタークロス板 ロスタークロス箱 ③ ロクロス ④ 自在ぼうし ⑤ ロス化ちりとり ⑥ ちりとり	
3 作業開始	① 選手は「では、作業を始めてください。」 右手を挙げ「(名前)です。始めます。」と言う。 ② 作業表示板を立てる。 ③ ダスタークロスを持ち、「失礼します。」と一礼して室内に入る。	
4 除塵作業	① 外から入口を掃除し、作業場所へ入る。	

生徒たちは、日頃から技能検定のテキストを使って学習し、検定にチャレンジしています。

検定では、評価表に基づき、審査員が受検者の技能及び態度等を審査し、確実にできたとされる項目数により級を判定しています。

1～10級まで認定するため、スモールステップで取り組むことができ、自分の目標や課題も明確になり、次のステップを目指して意欲的に取り組むことができています。

令和5年7月25日（火）、県生涯学習センター等で、第19回愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定を開催しました。当日は、県内の特別支援学校から延べ141名の生徒が、緊張しながらも一生懸命努力してきた自分を信じ、目標達成に向けて、真剣なまなざしで受検しました。

【第19回愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定の様子】



〔接客サービス：喫茶サービス〕



〔販売実務サービス：運搬・陳列〕



〔情報サービス：文字入力〕



〔清掃サービス：事務所清掃②〕

受検後には、「練習を頑張ってたかった」「自信がついた」という感想を持つ生徒が多く、「専門家の方に見ていただき、アドバイスをもらって、自分の課題を見付けることができた」「人のコミュニケーションや笑顔、適切な声の大きさを話すことの大切さを実感した」等、技能検定を通して新たな気付きや今後の目標を持つようになった生徒もいます。

また、保護者からは、「技能検定を通じて、活動への意欲と自信の面で変化が見られる」という感想が聞かれる等、就職や本人の成長につながる機会であると期待されています。

令和5年9月6日（水）、愛媛県議会議事堂農林水産・建設委員会室で第19回愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定1級認定証授与式を開催しました。当日は、1級の認定を受けた延べ19名に田所教育長から認定証が授与されました。

認定者代表挨拶では、表彰式に出席できる喜びや感謝の気持ちとともに、検定を通して向上したパソコン操作のスキルがさらに上達できるよう日々努力したいという決意の言葉が聞かれました。

【第19回愛顔（えがお）のえひめ特別支援学校技能検定1級認定証授与式の様子】



特別支援学校在学中に受検した生徒たちは、清掃業、卸売・小売業、情報関連業務や飲食業等、自分の特性を生かした企業等に就職し、検定を通して身に付けた力を生かし、任された仕事に生き生きと取り組んでいます。

なお、検定当日には愛媛県労働局主催の「障がい者雇用促進セミナー」が同時開催され、検定の様子をセミナー参加者に参観していただいています。熱心に取り組む生徒たちの姿を見て、「現場実習を受け入れていきたい」「障がい者雇用に向けて体制づくりをしていきたい」等の感想もいただいております、生徒の働く力のアピールにつながっていると感じています。

今後も、企業関係者の方々へ理解啓発や雇用促進を図りながら、雇用情勢や企業からのニーズを踏まえた種目内容の見直し等により検定内容を充実させ、生徒の進路希望の実現に努めてまいります。